

事業所名 児童デイサービスびたみんB（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		1生命の尊厳 私たちは知的障害のある人たち一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。2生命の尊厳 私たちは、知的障害のある人たちの、ひとりの人間としての個性、主体性、可能性を尊びます。 3人権の擁護 私たちは、知的障害のある人たちに対する、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。 4社会への参加 私たちは、知的障害のある人たちが、年齢、障害の状態などにかかわらず、社会を構成する一員としての市民生活が送れるように支援します。 5専門的な支援 私たちは、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、知的障害のある人たち一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生が送れるように支援し続けます。					
支援方針		当事業所では、身体を動かす活動や集団活動を通して、仲間との関わりの中で絆や信頼関係を育み、安心して過ごせる環境づくりに努めています。また、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、情緒の安定を図り、充実した日常生活を送ることができるよう支援します。 外出活動では、公共の場でのルールやマナーを学ぶ機会を設け、社会性やコミュニケーション能力などの社会的スキルの向上を目指します。さらに、散歩や屋外活動を取り入れ、五感への刺激を通して心身のリフレッシュを図り、感情の安定や自己調整力の向上を支援します。 利用される児童一人ひとりの特性や成長段階を尊重するとともに、ご家族の思いやニーズにも寄り添いながら、安心して利用できる持続可能で質の高いサービスの提供に努めます。					
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の定着を目指し、衣類の着脱や着替え、排泄、食事など、一人ひとりの発達段階に応じた支援を行います。また、身の回りのことを自分で行う力を育み、日常生活における自立を促進します。 散歩や外出活動を通して、交通ルールや公共の場でのマナーを学ぶ機会を設け、社会生活に必要な習慣や規範意識を身につけられるよう支援します。さらに、適度な運動や自然とのふれあいを取り入れることで、心身の健康維持や情緒の安定を図ります。					
	運動・感覚	鬼ごっこやドローケイ、公園での遊具遊び、バスケットボール、ドッジボール、ダンス、バランスボール、トランポリンなどの活動を通して、全身を使った粗大運動やバランス感覚、身体の協調性を養います。また、楽しみながら身体を動かすことで、基礎体力の向上や運動習慣の定着を図ります。 さらに、児童一人ひとりの発達や特性に応じて、絵を描く、色を塗る、工作を行うなどの活動を取り入れ、手先の巧緻性や目と手の協応動作を育みます。これらの活動を通して、学習や日常生活に必要な感覚機能や運動機能の向上を支援します。					
	認知・行動	宿題のサポートや、線引き、なぞり書きなど、一人ひとりの発達段階や特性に応じた学習支援を行います。また、机に向かう時間を設けることで、集中して課題に取り組む力や、一定時間着席して活動する力を育みます。 課題や宿題を達成した際には、褒めることや達成感を共有することを大切にし、成功体験を積み重ねられるよう支援します。また、課題終了後に好きな活動や外遊びの時間を設けるなど、見通しを持って行動できる環境を整え、学習や活動への意欲や自己管理能力の向上を図ります。					
	言語 コミュニケーション	日常的な会話の中で、適切な言葉遣いや表現方法を示しながら支援を行います。また、児童が短い言葉や単語で伝えた際には、その内容を発展させた言葉で返答することで、語彙力や表現力の向上を促します。 言葉によるコミュニケーションだけでなく、ジェスチャーや絵カードなどの補助的・代替的コミュニケーション手段も活用し、一人ひとりの特性に応じた意思疎通の方法を支援します。 さらに、お友達との関わりの中で、相手との適切な距離感や状況に応じたコミュニケーション方法を学べるよう支援します。友達とのトラブルを未然に防ぐための言葉の使い方や気持ちの伝え方を身につけるとともに、集団活動を通して、互いを尊重しながら仲良く関わるためのコミュニケーション能力の向上を図ります。					
	人間関係 社会性	集団活動や遊びを通して、協力することの大切さや役割分担、順番を待つことなど、社会生活に必要なルールやスキルを身につけられるよう支援します。また、屋外活動やレクリエーション、季節行事や卒業を祝う会などの行事を通して、他者と協力しながら一つの目標に向かって取り組む経験を積み重ね、社会性や協調性の発達を促します。 児童同士の関わりの中で生じるトラブルや意見の違いについては、支援員が仲介役となり、相手の気持ちを理解することや自分の気持ちを適切に伝える方法を学べるよう支援します。話し合いや仲直りの経験を通して、良好な人間関係を築く力や問題解決能力を育み、安心して集団生活を送ることができるよう支援します。					
家族支援		ご家族の負担軽減やレスパイト（休息）の機会を確保できるよう、必要に応じて延長支援を実施し、ご家族が安心してリフレッシュできる環境づくりに努めます。 また、障害福祉サービスや各種制度、経済的支援など、ご家庭で活用できる公的サービスに関する情報提供を行い、ご家族が必要な支援につながるができるようサポートします。 さらに、年に1回保護者を開催し、ご家族同士が情報交換や交流を行える機会を設けます。保護者同士のつながりづくりを支援するとともに、子育てに関する悩みや経験を共有できる場を提供し、ご家族を支えていきます。			移行支援		学校や関係機関と連携し、進級や進学、将来的な就労を見据えた移行支援を行います。お子様の特性や強み、配慮が必要な点などについて関係機関と情報共有を行い、切れ目のない支援につなげます。 また、新しい環境への不安を軽減し、円滑な移行ができるよう、必要に応じて事業所や学校等の見学の機会を設け、環境に慣れるための支援を行います。 さらに、集団活動や日常生活の中で、ルールを守ることや他者と協力すること、適切なコミュニケーションをとることなど、社会生活に必要なスキルを身につけられる機会を提供し、将来の地域生活や社会参加につながる力を育みます。

地域支援・地域連携	近隣の児童館や近場の公園での活動を通して、地域の子どもたちとの交流機会を設け、さまざまな人との関わりを経験できるよう支援します。また、地域社会の一員としての意識を育み、社会性やコミュニケーション能力の向上を図ります。 さらに、社会福祉協議会が主催するイベントへ参加し、児童が制作した作品の展示を行うことで、地域の方々とのつながりを深める機会を提供します。地域との交流を通して自己表現の機会を広げるとともに、達成感や自己肯定感の向上につなげます。	職員の質の向上	毎月開催する定例会において、虐待防止、身体拘束等適正化、感染症対策、安全管理などの必須研修をはじめ、支援に必要な専門知識や技術の向上を目的とした研修を実施し、職員の資質向上に努めます。 また、介護福祉士や児童発達支援管理責任者などの資格取得を支援し、専門性の高い支援が提供できる体制づくりを進めています。 日々の支援においては、支援開始前に打ち合わせを行い、児童一人ひとりの特性や支援方法、配慮事項について情報共有を行います。職員間で共通理解を図ることで、一貫性のある質の高い支援の提供に努めます。
主な行事等	・びたみんB運動会・卒業を祝う会・消防署見学・ボウリング大会・おやつ作り・ハロウィン会・クリスマス会・カラオケ活動・公園遊び・体育館活動・児童館活動・季節の行事（七夕、節分、お花見など）・学校休業日のお出掛け活動・地域イベントへの参加。様々な行事や体験活動を通して、社会性やコミュニケーション能力を育むとともに、季節の移り変わりや地域とのつながりを感じられる機会を提供します。また、仲間と協力して活動する経験や成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や主体性の向上を図ります。		